

第21回総会開催報告

1. 協議会ホームページ

以下を掲載しました。

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
- Research Promotion Council of Keihanna Info-Communication Open Laboratory -

お問い合わせ English



協議会について知りたい方へ

入会方法

施設のご案内

第21回総会 開催報告・特別公演アーカイブ配信

2022年6月16日(木)に、けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会第21回総会及び特別講演をオンラインで開催しました。総会では、村尾和俊協議会理事長(西日本電信電話株式会社 相談役)をはじめ、73者の出席がありました(「議長に一任」を含む)。議事においては、昨年度の活動と成果の報告に続き、今年度は、記念シンポジウムを開催する・遠隔コミュニケーション準備WGの活動を支援する・WG活性化活動の提案を募集するなどとした今年度の活動方針・計画(第1号議案及び第2号議案)が、下記の通り承認されました。

副理事長が不在となることもあり得るとする規約改定(第3号議案)も、下記の通り承認されました。

議事に続いて特別講演として、クラスター株式会社 代表取締役CEOである加藤 直人氏より、「メタバースが実現する未来」という題目でご講演をいただきました。実際の事例をもとにメタバース市場の最新のビジネスと未来についてご紹介いただきました。時間の都合により、寄せられた質問については後日ご回答頂く事となりました。

記

第1号議案：2021年度活動報告(案)・2021年度決算(案)について
承認27票、否認0票、議長に一任43票

第2号議案：2022年度活動方針(案)・2022年度予算(案)について
承認27票、否認0票、議長に一任43票

第3号議案：規約改定(案)について
承認23票、否認0票、議長に一任46票

第4号議案：役員変更(案)について
承認24票、否認0票、議長に一任44票

【補足】

- ・票決は、Zoomミーティングの投票機能を用い、参加者に「承認」「否認」「議長に一任」の選択肢から1つを選択し投票いただく形で実施した。
- ・投票に際しては、法人及び団体会員の皆様には代表者の方が投票頂くこととした。
- ・全員の投票終了を待つ事なく、結果が明らかになったところで打ち切ることとした。

敬 具

ご案内

トップページ・最新情報
協議会について知りたい方へ
総会
シンポジウム
セミナー
English Top Page

協議会の研究活動

- IoTネットワーク基盤分科会
 - 相互接続性検証WG
 - オープン光ネットワーク基盤WG
- ユニバーサルコミュニケーション分科会
 - 映像コミュニケーションWG
 - 気象レーダーWG
 - グローバルコミュニケーションWG

村尾理事長



● 資料ダウンロード

- 運営・研究部会資料(PDF)「運営・研究部会活動報告」
- 分科会資料(PDF)「分科会活動報告」
- 次策(PDF)

特別公演 クラスター株式会社 代表取締役CEO 加藤 直人 氏



● 特別公演

講師：加藤 直人 氏（クラスター株式会社 代表取締役CEO）
演題：メタバースが実現する未来
特別公演アーカイブ配信 YouTube [こちらからお入りください](#)→
冒頭に音声の乱れがございますが、ご了承ください。

※総会終了後にアンケートへのご協力頂きありがとうございました。

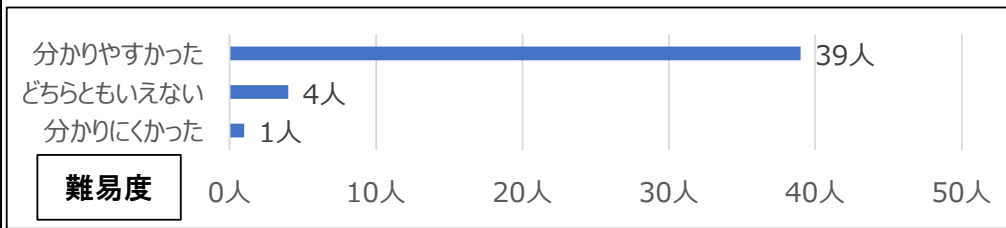
【問合せ先・連絡先】
けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会 事務局
担当：和田
TEL:0774-98-6806 FAX: 0774-98-6955
E-mail:kyogikai-info@khn.nict.go.jp

以上

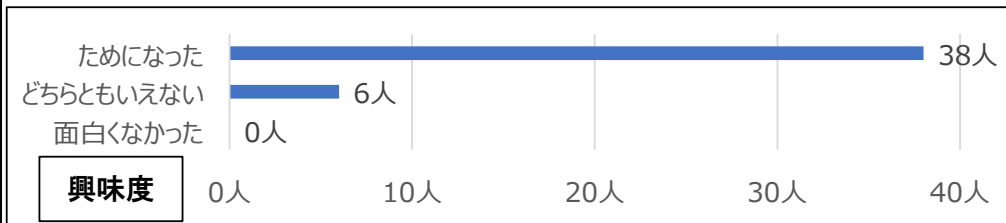
2. アンケート結果

44名から回答がありました。

問1. 本日の講演へのご感想（いずれかに✓をお付けください）【回答者44名】



問2. 本日の講演へのご感想（いずれかに✓をお付けください）【回答者44名】



問3. その他、開催場所、時間など、ご意見・ご感想・ご質問などご自由にご記入ください。

【回答者20名】

<講演の内容に関するご意見>【10名】

- ・VR渋谷のハロウィンイベントは、QCULUSを使って参加しました。PCやスマホで見るとは全く違う没入感があり、まるでそこにいるような感覚でした。
- ・さすがに、若い人の行動力はすごいものがあると思いました。関西も負けていられませんか。キャンパスベンチャーグランプリ (<https://cvg.nikkan.co.jp/>) の学生さんたちにも、見ていただきたい内容だと思います。きっと、いい刺激になったはずです。
- ・私にとって、メタバースは仕事の延長（テレワーク、会議、展示会）が主です。メタバースで遊ぶよりも、実世界で大自然に浸り遊び、露天風呂に入り酒を嗜む方を志向します。そして、研究開発では、実身体拡張通信（実アバタ、遠隔操作ロボット、鉄腕アトム）を完成させたいと思っています。私が遠隔操作するロボットがパリで絵画（実際のモナ・リザ）を鑑賞し（8K）ショッピングをします（実際の店で）。
- ・少しついていけない箇所もありましたが、興味深く拝聴しました。
- ・現在、話題になっているメタバースについて、貴重なお話をお伺いでき、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・メタバースの講演、とても勉強になりました。
- ・内容的にとってもキャッチーであった。
- ・いい点のみならず社会的な問題点なども示唆して欲しかった。
- ・特別講演をもっと聞きたかった。質疑応答の時間をもっともらいたかった。
- ・もっとゆっくりしゃべって欲しい。聞き取りにくい箇所が多々あった。ビジネスモデルが分からない。

<オンライン開催に肯定的なご意見>【7名】

- ・リモートでの講演会は非常に参加しやすく、リアル会場だと画面が見えないということもないため、大変良いと思います。
- ・引き続きオンライン開催していただくと参加しやすいです。
- ・今回の総会が、手段、時間等、丁度良い。
- ・オンラインでしたがとても進行がスムーズだったと思います。
- ・Zoom開催で、非常に参加しやすかったです。
- ・オンライン開催は参加しやすいことや、コストも抑えられるメリットがあると思います。
出席率向上のためにも、今後もオンライン開催若しくは併用が望ましいと感じました。
- ・オンラインでも十分だと感じた。

<オンライン開催に否定的なご意見>【0名】

<その他>【3名】

- ・けいはんなオープンラボ協議会の交流会をクラスター様のプラットフォームを活用して実施してみてもいかがでしょうか？
- ・加藤さんの講演資料の入手は可能でしょうか？
- ・特にございません。

問4. 今後の講演へのご要望、今後希望する講演の内容をお知らせください。【回答者14名】

<講演への要望や意見関連>【5名】

- ・時代を先取りする刺激的な講演を拝聴できるのはありがたいです。
- ・今回のような先進的な内容をお願いします。
- ・技術の深い内容より、今回のようなわかりやすい内容が広く参加いただいている方に刺さると思います。
- ・すぐ役に立つ技術の習得もできるといいです。例えば、ビッグデータ解析に関してリンクトグラフがよく用いられます。
本協議会の分析を参加各社をリンクトグラフで表してどんなものになるのか、分析法を教えるとともに結果を示すのも面白いと思います。
- ・講演等は会員向けにアーカイブ公開して欲しい。

<万博関連>【3名】

- ・大阪・関西万博に関する講演を希望します。
- ・万博関連の講演を希望します。
- ・2025大阪・関西万博への取り組み。

<6GやICT関連>【2名】

- ・ディープフェイク、ブロックチェーン、NFTとメタバース。
- ・6Gや自動運転に関する取り組みが知りたい。

<素材関連>【1名】

- ・日本が世界的に強い分野、素材とか、の講演。世界に先駆けて〇〇を開発する、その発想の源泉について、聞きたい。

<スマートシティ関連>【1名】

- ・スマートシティ関係で話題になっている分野。

<その他>【2名】

- ・特にございません。
- ・特になし。

問5. けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会に対して、ご意見・ご要望がございましたらご自由にご記入ください。【回答者8名】

＜活動内容＞【7名】

- ・活性化が必要ですね。よろしくお願いします。
- ・もう少し頻度良く活動報告を紹介して欲しい。
- ・何故この場で活動するのかということを理解するには、オープンラボでどんな施設を抱えていて、どんな利用をしているのが示されるとよかったです。NICTは大規模なテストベッドを抱えています。それとはどこが違い、どこを共通にしているのか？相乗効果はあるのでしょうか？今回は、今一つ分かりにくかったです。施設と活動をペアで示していただけると、どんなことができるのか直感的に分かりやすくなると思います。アプリケーションの観点からは、万博を抱えている関西からは、何か出てくることを期待したい。そのため、万博は2025までの本競技会の活動を支える柱と思いますので、参画者が知恵を出し合って対応方法を考えていきたいと思っています。
- ・2025大阪・関西万博に向けて、どのような貢献ができるかを明示いただきたい。
- ・近未来では、やはり大阪万博への寄与貢献でしょう。関西からの全世界への発信でしょう。具体的には、エネルギーの地産地消（送電なし、脱炭素、脱原発）、食料の地産地消（小規模/家庭内農業、低生産性/手抜き農業）、そして、実身体拡張通信の実現（超高齢化社会への1つの解決策、肉体労働者不足の解消）でしょう。
- ・関西産官学界興隆のためがんばりましょう。
- ・今後ともよろしくお願いします。

＜その他＞【1名】

- ・遠隔コミュニケーション準備WGに興味がございます。一度、お話を伺いできればと存じます。よろしくお願いいたします。

以上